

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境エネルギー係
■評価事業名称	地域エネルギーマネジメント事業			
■事業開始年度	平成27年度			
■評価事業コード	030200 - 220	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	あじさい型スマートコミュニティ事業の一環として地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)を運用し、本庁舎や地域防災拠点等の公共施設の電力消費量の監視、デマンドレスポンスを実施し、エネルギー使用の最適化を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	地域エネルギーマネジメント事業	市民	エネルギーの見える化、市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率向上、デマンドレスポンス等のためのデータ作成業務を委託。	地域エネルギーマネジメントシステム管理業務を委託。対象施設23件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	3,139	5,185	5,834	8,223	
人件費		451	1,297	1,768	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,139	5,636	7,131	9,991	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	対象施設数	21件	21件	22件	23件	H29:北上オフィスプラザ追加 H30:北上中央図書館追加

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

02	市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率		27.8%	27.4%	34.4%	再生可能エネルギー比率 = (A+B)/C A: 本庁舎、 ソーラーパーク、地区交流 センター、オフィスプラザの 太陽光発電量、蓄電池放電 量 B: かむいソーラーから スマートコミュニティ事業施 設に供給された電力量 C: スマートコミュニティ事業施 設建物使用電力量
----	-----------------------	--	-------	-------	-------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

スマートコミュニティ施設で、市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率向上のため、エネルギーの見える化をし、電気使用量の低減を行った。

問題点・課題等

地域エネルギーマネジメントシステム各施設の保守管理を適切に行う必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

収集したデータをもとにより効果的なエネルギーマネジメントを進めていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了